

令和2年度

# 事業計画書



公益財団法人草津市コミュニティ事業団

はじめに

当事業団は、草津市協働のまちづくり条例に基づく市の指定を受けた中間支援組織として、市民と市の間で協働のまちづくりを推進しています。市の将来像で懸念される人口減少や高齢化を見据え、複雑・多様化する地域課題に対応し、市とともに「協働のまちづくり」を推進するためには、市民公益活動団体や地域まちづくり協議会など民間のステークホルダーと行政との官民連携の結節点として事業団に大きな役割が求められています。このため事業団では、中期の行動計画「アクションプラン2018」に基づき各種事業を展開しています。

この計画の中では、事業団が市民と共に歩み、中間支援組織としての確かな実力を高め、求められる役割を果たすために“市民に愛され、草津で末永く協働のまちづくりを推進していきます”をビジョンに掲げています。さらなる「事業団ブランド」の確立を目指し、草津市の豊かなコミュニティづくりに欠かせない「オンリーワン」の組織として、事業団は次に掲げる基本方針のもとに令和2年度の事業計画を定めることとします。

#### (1) 事業団ならではの専門性とネットワークを活かした“中間支援”の追求

「第5次草津市総合計画」に掲げられた第3期基本計画リーディング・プロジェクトの1つである「コミュニティ活動の推進」に基づき、地域まちづくりセンターの第2期目の指定管理を行う各地域まちづくり協議会に対し、引き続き労務・税務等、公会計業務の支援や地域課題の相談対応を行うとともに、市民公益活動団体等に対しては従来事業展開に加え、立ち上げ支援を伴走型で行う資金助成制度などきめ細かい支援を図ります。

また、市民公益活動団体等の拠点となるまちづくりセンター、健康や福祉の視点から高齢者を含む多世代間の交流を図るロクハ荘、市内各所にある公園の維持管理を通じて環境や緑化から地域へアプローチする公園事務所、「市民とともに創る」スタイルで市民文化を醸成し、多面的重層的な文化芸術のスパイラルを創出する文化ホールの各指定管理施設が、それぞれの施設の特徴を生かしながら市の政策実現を支援します。とりわけ（仮称）市民総合交流センターへの移転を予定しているまちづくりセンターは、現施設の閉館準備と新施設への円滑な移転に向けた万全の体制整備に努めます。

## (2) 組織の足腰を強くする経営・人材マネジメントの強化

持続可能で安定した経営基盤を確保するため、現在、受託している指定管理施設については、事業の選択と集中により効率的かつ合理的な施設運営に努めるとともに、ロクハ公園等市内公園施設については、令和2年度が指定管理の更新年次となるため、次期指定決定に向けた「政策支援型」の提案準備を行います。

また人材マネジメントについては、引き続き各種研修や評価制度等を用いた人材マネジメントを推し進めるとともに、「働き方改革」関連の法改正を踏まえ、労務環境や評価制度、組織体制のあり方等を検討し、市とも協議・調整を行い、経営・人材マネジメントの強化に向けた見直しを行います。

## (3) 戦略的な情報発信とブランド力の強化

市民生活を中間支援組織として支える「オンリーワン」の組織として事業団の使命を達成するには「事業団ブランド」の確立が欠かせません。そのため、経営に参画した「えふえむ草津」や動画チャンネルの活用など新たな情報媒体を積極的に活用し、「コミュニティくさつ」やホームページなど既存の情報媒体とも連携させて情報を重層的に発信します。

とりわけ、「えふえむ草津」の活用では、「コミュニティくさつ」で取り上げた市民活動団体や各地域まちづくり協議会を対象に、昨年度から放送を開始した市民活動情報番組「くさつコミュニティtime!」の出演につなげ、普段は情報の受け手である市民に情報発信の主役となる場を提供するなど、情報の収集・発信を戦略的にリンクさせて市民に身近な事業団としての価値を高めます。



# 事業計画

## I 公益目的事業

### 1. コミュニティ振興及びまちづくりに関する事業

#### (1) まちづくり振興

##### ア. まちづくりに関する情報の収集および発信

###### ①まちづくり情報誌「コミュニティくさつ」の発行（4,197 千円）

市民編集ボランティアと協力し、市内の特色ある団体や取り組みを紹介するまちづくり情報誌として発行します。引き続き、えふえむ草津をはじめとする他のメディア媒体との連動を図り、より効果的な情報発信に努めます。また、市より求めのあった全戸配布による町内会の負担軽減について、次年度からの実施に向け方策を検討します。



###### ②市民活動団体情報つながりのめ（198 千円）

中間支援組織が備えるべき情報として、市内の市民活動団体の基礎情報を収集し、相談対応・ボランティアコーディネート・事業団各種事業等に活用していきます。また、収集した情報については冊子化および HP にて発信し、団体同士の自主的なつながりづくり、協働事業の推進に活かしていきます。この情報を中核に置き、可能な限り掲載団体との対面機会をつくりながら、中間支援力の向上を図ります。



###### ③コミュニティ FM を活用したまちづくり情報の発信（2,016 千円）

昨年 10 月より、まちづくり活動に取り組む団体の活動 PR の機会と手法を拡げるため、FM 番組の放送を開始しました。“市民自らが出演する FM 番組”としての定着を図り、発信力の強化と市民のまちづくりへの関心と理解につなげていきます。



###### ④まちづくり協議会 HP 運営サポート（383 千円）

運営サポートを行う全 11 まちづくり協議会と新たにホームページ保守業務を締結し、IT系 NPO と連携しながら HP の運営サポートを行います。また、希望する協議会からの受託を受け、新規にホームページの作成も進める予定です。

## イ. まちづくりに関する相談およびコンサルティング

### ①相談窓口の設置

まちづくりに関する各種相談に職員が対応します。団体運営や事業の進め方に関する助言から、団体間のコーディネートまで幅広い対応を行います。また、依頼のあったまちづくり協議会に対しては、事業団施設などと連携した各種サポートも実施します。

## ウ. まちづくりに関する人材育成および研修

### ①ひととまちの未来をつくるカレッジ（204千円）

市民活動団体やまちづくり協議会の活動のスキルアップにつながる講座を実施します。助成金の獲得に必要な企画づくりや活動のPR手法など、市民活動団体やまちづくり協議会が抱える課題を解消・克服につながる実務的な内容で行います。



## エ. まちづくりに関する活動支援および資金助成

### ①ひとまちキラリ助成（2,072千円）

立ち上げ期とステップアップの2部門で提案団体を募集し、助成します。採択団体には資金援助だけでなく、活動への助言や広報支援など、活動状況に応じた伴走型サポートを実施します。また、市域や地域で地道に活動する団体を表彰する「イキイキ活動賞」も市内事業所からの寄付をいただきながら引き続き実施します。

### ②まちづくり協議会 会計・税務・労務等サポート業務（11,104千円）

地域まちづくりセンターの指定管理者として2期目を迎える地域まちづくり協議会の会計、税務、労務などの日常業務のサポートおよびネットワーク環境のインフラ整備と保守を草津市からの受託事業として実施し、各協議会の適正かつ円滑な事務の下支えをします。

## オ. その他、各種団体との協働事業の推進（1,175千円）＊共通経費含む

中間支援組織として、市内を中心とした各種団体との協働事業を展開します。また、他市の中間支援センターへの視察研修なども行い、ネットワークの拡大およびスキル獲得につなげていきます

## (2) まちづくりセンター

「登録団体と創るもっと元気な草津のまち～市民公益活動の活性化を目指して～」の運営理念のもと、引き続き指定管理者として管理運営を行います。（仮称）市民総合交流センターの開設を控え、現施設では最終一年間の運営管理になりますが、まちづくりを円滑に進めるための中間支援の拠点施設として、多くの市民が利用し、活動できるよう、より身近で親しみやすい空間を提供します。

### ① ふらっとサロンのさらなる有効活用

登録団体をはじめ市民や団体の活動をさらに活発にし、その活動を多くの市民に知っていただくため「ふらっとサロン」を活動紹介・作品展示の場として活用します。草津市の「赤ちゃんの駅」に登録されていることを受けて設置した「ベビー&キッズスペース」では、登録団体や市内の子育てサークルとの協働で乳幼児連れの親子に楽しんでいただく「子育て支援 ママ・コミュニティ」事業を展開し、これまでセンターとの関わりが薄かった子育て世代にも安心して過ごせる場を提供します。

また、感銘を受けた絵本のメッセージを伝え、読み継いでいただく「あなたと旅するわたしの絵本」コーナーをサロン入口に設置し、子育て中の保護者間の交流をはじめとした世代間交流など子どもたちの心を育む場所を作ること、地域とのつながりを深め、まちとの関わり方を創出します。

### ② アウトリーチ事業の展開

市民公益活動の裾野を広げ、さらなる活性化に向けて、その活動を必要とする人に届けるためのアウトリーチ事業をさらに推進します。登録団体が公共施設や病院、介護施設などに出向いて活動したり、作品を紹介したりするためのコーディネートを行い、地域の活性化につなげ、紹介施設もさらに拡大します。



### ③ まちの情報局

草津市の動きや市内で行われた催しなど、さまざまな分野で活動する市民を紹介した新聞記事を「ガンバトル草津市民」としてロビーに掲示、タブレットを配備して市民にこれらの情報を提供するとともに、まちづくり支援情報として有効活用します。

また、ホームページでは、各地域まちづくり協議会の情報誌とリンクし、市民公益活動の状況把握に努め、地域まちづくりセンターや新聞社・ミニコミ誌にタイムリーな情報を提供する「まちの情報局」として情報発信機能を高めます。

#### ④ まちづくりセンター運営協議会事務局

中間支援組織の機能を高めるため、市民（利用者）、所有者（草津市）、指定管理者（事業団）の三者で構成する「まちづくりセンター運営協議会」の事務局業務を担い、市民の自主的・自発的な活動をサポートします。また、年度ごとに実施している団体登録の更新、新規の申請業務を通じて、市民公益活動のさらなる活性化と充実を図ります。

#### ⑤ 草津コミュニティ支援センターのサポート

公設市民営として「草津コミュニティ支援センター運営会」による自主運営を基本に、施設管理をサポートします。施設の安全管理のさらなる徹底を図り、開かれた施設とするルール整備等については、まちづくりセンターの登録基準も参考に、草津市および支援センター運営会と調整の上、合意形成を進めます。

#### ⑥ まちづくり機器の貸出（1,119千円）

市民活動団体やまちづくり協議会、町内会等が地域のコミュニティ振興を図るため実施するイベント等に利用する「各種まちづくり機器」を貸し出します。有効に活用いただけるよう広く周知するため、草津市が発行する「市民活動資料集」に事業概要を掲載し、幼稚園や保育園等にもDMを送付し、利用者の拡大に努めます。（仮称）市民総合交流センターでもこの事業を継続するため、利用者の要望や利用頻度等に応じた機器の整理を進めます。



## 2. 高齢者福祉及び多世代交流に関する事業

### (1) 長寿の郷ロクハ荘

新たな指定管理期間（令和2年度から5年間）の初年度となります。これまで行ってきた指定管理提案である草津市の「健幸都市」宣言を基に、ロクハ荘を「アクティブ・オープン・プレイス」と位置付け、管理運営を行います。

#### ① 高齢者の外出の機会の創出（490千円）

ロクハ荘では普段の生活で遠出が出来ない方への楽しみや仲間作り等に向けたマッチの会バスツアー、こちらから地域に出向いた「駆け付け講座」や巡回バスを利用した「お出迎え講座」を100円の有償事業とし、入浴券やカラオケ補助券といったロクハ荘へ出向くきっかけ作りへと変化を加え実施して参ります。ロクハ荘PRとして標識アイコンを新設し、中庭から公園への開放感ある空間へと広げ、子どもたちの声が聞こえる多世代が交流する場所として、外出の機会を提供します。



#### ② 高齢者の社会参加の場の提供（6千円）

日頃から多くの方々が利用するロクハ荘では、利用者の方も含め、地域の方との「防災と安心のまちづくり」の一環として地域ぐるみ（町内会・地域活動団体等）の避難訓練（くさつシェイクアウト含む）を実施してまいります。運営協議会での委員の発案事業やロクハ荘ステージを活用した市民によるパフォーマンスの場の提供など市民と共に展開していきます。



#### ③ 仲間づくりの輪を広げる（166千円）

J Aくさつ市の協力による新鮮野菜販売の「旬菜館」や同好会実施のフリマは多くの方々が顔を寄せるふれあいの場の提供へとつなげます。

#### ④ 多世代の交流が深まる（439千円）

ロクハ荘の一大イベント「ふれあいまつり」は、日頃の成果をステージや作品展示で発表する同好会のメンバーと、地域子どもたちなど多くの方がふれあう場となっています。子育て支援事業では、公園事務所との連携事業の「緑葉（ロクハ）あそびクラブ」やつどいの広場くれよんと連携した子育て支援イベント等を継続して行うとともに、夏&冬休みには高齢者と子どもたちが交流できる場として娯楽室や図書室を開放し、自習室として提供いたします。

## ⑤ 自らの健康づくりや介護予防の継続（641 千円）

・～高齢者福祉の充実～フレイル予防として、びわ湖くさつはつらつCLUBは平成 28 年度にロクハ荘事業として始めました。（株）第一興商のスポーツボイストレーニングは、年々参加者が増え、健康づくりと生きがいづくりに貢献しており、引き続き機会を提供することでフレイル予防に寄与してまいります。

・筋肉量を増やし転倒防止へと繋げて健康寿命を延ばすため、立命館大学スポーツ健康科学部との連携で始まった「健康バンド」をロクハ健康プロジェクトの一翼として運営し、市の健幸都市宣言に沿った事業展開を行います。

・市社協と連携し、地域サロンを対象にロクハ荘で一日楽しむ「とく得バスツアー」や、駆け付け講座、お出迎え講座など外出するきっかけとなる機会を作り、人とのつながりや引きこもり防止へとつなげていきます。



### 3. 環境及び公園緑地等に関する事業

#### (1) ロクハ公園等

---

事業団と草津造園協同組合と株式会社サンアメニティの三者で共同体を構成した指定管理期間は平成30年度から3年目の最終年度を迎えます。

「施設を知り抜くプロの連携による安心・安全・快適の提供」「住民による公園管理をサポート」「公園を地域の学び・健康・生きがいつくりの場に」の3つの運営方針のもと、公園緑化活動や自然環境にふれることのできる快適な場所として、ロクハ公園をはじめとする市内児童公園および緑道などを憩いの場として提供するため、地域の皆さんと協力しながら管理運営を行います。

##### ① ロクハプールに関する事業（構成団体 27,665 千円）

ロクハ公園プールの管理運営については、構成団体の株式会社サンアメニティがプロとしての責任を持った管理運営を行うとともに、プールを活用した事業としての各種水泳教室やプール内での様々なイベントを開催します。

また、利用者が安全に安心してご利用いただけるよう、施設のハザード除去や衛生管理を徹底するほか、利用者の快適さに配慮した毎時休憩時間の短縮や、開場時間の前倒しによるプール入場者の分散など、「事故ゼロ」と「快適性」の両立を目標に事業団と構成団体とが情報を密に共有して管理運営を行います。

##### ② 公園維持管理に関する事業（構成団体 14,003 千円）

ロクハ公園を含む市内児童公園（約330箇所）等の危険遊具の撤去、遊具の設置・更新や高木の剪定・伐採業務など、地元住民による自主管理では対応が困難な業務については、専門技術を有する構成団体の草津造園協同組合がプロとして責任を持った管理運営を行います。

また、軽易な維持管理等については、巡回点検を密に行い、不良箇所・危険箇所の早期発見に努めるとともに、地元町内会などからの依頼事項（修繕・刈草収集・樹木剪定・害虫駆除等）についても市と情報共有しながら迅速に対応し、市民目線に立った安全かつ安心して楽しく利用できる公園を提供していきます。

### ③ 「私たちの公園づくりサポートセンター」稼働による、町内会などボランティア支援とガーデニングに関する事業（397千円）

地域の公園等における「ガーデニング事業」を積極的に推進するとともに、公園サポートセンターの稼働に向け、各町内会・自治会やまち協等のニーズの把握調査や地域への働きかけをしていきます。また、町内会やボランティアなどに対して、草刈機や樹木剪定などに必要な機器・軽ダンプ車といった環境・緑化機器などを無償で貸し出します。

地域が主体となって地元の公園を管理していただくための支援として、除草作業後の刈草処分や地域では対応できない高木の剪定、薬剤散布等の業務については、公園事務所職員と草津造園協同組合が最適な方法で分担して行います。



### ④ 環境学習に関する事業やロクハ荘と連携した事業（1,325千円）

環境学習事業では積極的に活動の場を広げ、地域の特色を生かした事業に取り組むとともに、市民の皆様がお持ちの知識や技能を活かしたボランティアとして活動する「公園サポーター」の協力を得ながら、花壇づくりや美化活動・子どもたちの遊び場の見守りなど様々な活動を行います。

また、隣接するロクハ荘と連携し、多世代に亘り五感で季節を感じることもできるイベントや講座など、ロクハの自然を満喫する「緑化フェア」や「緑葉（ロクハ）あそびクラブ」の運営を協働して行います。昨年度に事業団、市社協、JCの三団体がコラボ開催した「緑化フェア」は大盛況であり、今年度も三団体がロクハ荘と連携して開催します。

さらなる利用者サービス向上のため、今年度からロクハ荘軽食コーナーとロクハ公園プール開催時期（7～8月）の食堂、売店の事業者を変更し、新たな軽食サービスを提供します。さらに付加サービスを提供できるよう、ロクハ公園デイキャンプ使用時の食材販売やバーベキューコンロ貸出し等を行う「手ぶらでバーベキュー」の実施準備を進めます。



## 4. 社会教育及び文化・スポーツに関する事業

### (1) 文化ホール

---

新たな指定管理期間（令和2年度からの5年間）の初年度となります。「“あなたらしさ”をプロデュースする文化ホール」を基本理念に、「made in くさつ」の文化、「草津らしさ」「草津スタイル」と呼ばれる、草津の個性となる文化芸術事業を実施します。

事業団の強みである地域でのネットワーク力、コーディネート力を有する中間支援機能（アートセンター機能）を拡充し、草津市文化振興条例および同計画の推進に寄与します。

#### ア. 鑑賞型事業（25,544 千円）

##### ①市民と創るコンサート

ホールの入口事業として定着し、毎年人気のロビーコンサートをホールで開催します。市内で活動する団体、クリアホール・アミカホールを利用する団体を中心に、市民プロデューサー育成、市民パーソナリティ育成を目的にコンサートを企画し、FM 草津とも連携して公開ラジオ番組コンサートを制作します。

- ・ 市民オーケストラと創るコンサート
- ・ ひとまちキラリ採択団体と創るコンサート
- ・ 子育て支援『赤ちゃんといっしょに あ・そ・ぼ コンサート』
- ・ ジャズフェスティバル

##### ②クリア劇場 劇団四季ファミリーミュージカル（クリアホール）

日本を代表するミュージカル劇団のファミリーミュージカル公演

『人間になりたがった猫』

##### ③滋賀県アートコラボレーション採択事業（クリアホール）

クリア劇場2020 サンリオピューロランド in Shiga

サンリオ ファミリーミュージカル&ダンスワークショップ

##### ④みんなの音楽会2020（クリアホール）

京都市交響楽団による映画音楽

⑤滋賀県アートコラボレーション採択事業（アミカホール）

おうみ狂言図鑑

茂山家による新作狂言

⑥滋賀県アートコラボレーション採択事業（アミカホール）

平和堂財団文化奨励賞受賞者による地元ゆかりのアーティストによるコンサート

⑦クリア劇場2020

横山だいすけショー

親子で楽しめるリーディングミュージカル 『おばけのアッチ』

イ. 次世代育成 （3,962 千円）

①クリア舞台芸術学校2020（アミカホール）

ウィーン少年合唱団常任指揮者による音楽講座

②劇団四季 こころの劇場（クリアホール）

日本を代表するミュージカル劇団「劇団四季」が小学6年生を対象にした無料公演。子どもたちの心に生命の大切さ、人を思いやる心、信じあう喜びなど、人が生きていく上で最も大切なものを舞台を通じて語りかける企画とし、未来を担う子どもたちに本物の芸術との出会いを提供します。

③『クリアホールからこんにちは』 おでかけコンサート

（草津市文化振興計画 13万人の文化プロジェクト）

障がい等を理由に、通常の劇場環境に馴染むことが困難な方が、よりリラックスした環境で鑑賞を楽しめるよう配慮したコンサート

④クリアホール アートセンター（クリアホール／アミカホール）

市民のための文化振興の相談窓口として、アーティストのコーディネート、事業プロデュース、アウトリーチ、芸術アドバイスから企画制作他、音楽・演劇・舞台芸術に関する情報収集および助言等の各種支援を行います

アートセンターニュースの発行

ウ. 創造事業 (7,528 千円)

①クレア舞台芸術学校2020 草津歌劇団 (クレアホール)

総合舞台芸術の基礎を学び、草津のまちづくりに参加する草津歌劇団5期生を育成し公演を行います。

②くれあ座 こどもワークショップ (クレアホール/アミカホール)

日本舞踊 箏 三味線 尺八 など 邦楽ワークショップ

エ. 市民協働事業 (2,710 千円)

①クレアプラスフェスティバル (クレアホール)

②草津市文化祭 (クレアホール)

③草津市合唱祭 (クレアホール)



## (2) スポーツ振興

事業団が出資する合同会社草津市スポーツ振興事業体の業務執行社員の一員として、次のスポーツ施設の運営および維持管理を行います。前年度よりコナミスポーツ株式会社を指定管理者の構成団体として加え、互いの持つ経験やノウハウを活かした協力体制のもとに、施設の管理運営や各種スポーツ事業等を通して、市民相互のふれあいと地域連携意識の高揚に努め、『みんなが スポーツ大好きなまち くさつ』の実現に向けて“ALL くさつ”の一翼を担います。

### <指定管理者としての管理施設>

- ①総合体育館
- ②弾正公園（草津グリーンスタジアム、弾正テニスコート、多目的広場）
- ③野村運動公園（グラウンド）
- ④ふれあい体育館・運動場
- ⑤武道館
- ⑥三ツ池運動公園（芝生グラウンド、テニスコート）
- ⑦野村公園 YMIT アリーナ（くさつシティアリーナ）

施設の運営にあたっては、利用者が快適で安全に利用できるよう、施設の維持管理の充実を図るとともに、施設予約システムやホームページ「草津市スポーツ情報」の運用により施設環境の充実を図ります。併せて、令和元年6月にオープンしたYMITアリーナでの「にぎわい創出事業」についても市内の各種団体と協力しながら実施していきます。利用者に対して公平・公正に努め、関係団体との連携を強化し、各種サービスの向上に努めます。

また、スポーツ事業についてはコナミスポーツの持つネットワークを活かした新たな事業を行うとともに、草津市スポーツ推進計画に掲げられている基本方針に沿って、子どもの体力向上やスポーツ活動の推進、施設開放事業などによる生涯スポーツの推進、さらに（公社）草津市スポーツ協会や各種団体などが実施するスポーツイベントへの積極的な関与、地域コミュニティによるスポーツ文化の推進や競技スポーツの発展に寄与します。



### 1. 公共施設管理

公共サービスの充実や公益目的事業に付随する事業を行うことにより、住みよいまちづくりに寄与することを目的として公共施設の管理等を行います。

#### ①道の駅草津駐車場

「道の駅草津」駐車場の管理運営を受託し、ドライバーの安全で快適な運転に要する休憩の場を提供しながら、草津の歴史・文化・名所などの紹介や地元産物の販売など、県内外から車で訪れる利用者にとって草津の玄関口となる多機能型の施設として、情報発信と地域振興に努めます。

#### ②まちづくりセンター貸館

市民活動の推進に寄与するために運営している市立まちづくりセンターの一般利用貸付を行います。一般向けの貸館事業は市民活動団体利用の妨げにならないよう、センター3階部分を中心とし、「安全で安心して使える施設」「より使いたくなる施設」を念頭に、市民の視点に立った管理運営を引き続き行います。また、利用者の利便性向上のため、案内板を見やすくするとともに、カラーコピー機やスマートフォン等の普及に対応する無料公衆無線 LAN の充実などを図っていきます。

#### ③ロクハ荘、クリアホール、アミカホール、ロクハ公園等の維持管理

ロクハ荘に設置されている温浴施設をはじめ、クリアホールやアミカホールおよびロクハ公園等の修繕や維持管理を、より一層の経費節減に努めながら適正に行います。